# のはらうた30年記念 「のはらうた」大賞 入賞作品発表

主催／童話屋　共催／朝日小学生新聞

たくさんたくさん「のはらうた」を送ってくれて
どうもありがとう。
くどうなおこさんと、ふくろうげんぞうと
童話屋の四人のお姉さんが詩を選びました。
一次選考で選ばれた数は一六五編。
最終選考で選ばれたのは十一編。
オノマトペが面白い詩
アイデアにあふれた詩
アクロスティックの詩もあり
めげずにがんばる明るい詩など
どれも入選作は紙一重の出来映えで
選考は長時間にわたりました。
学校奨励賞も三校決まって
最後は拍手で終わりました。
今年は「のはらうた」が生まれて三十年。
「あっぱれのはらうた」も記念出版されて
のはらむらは一年中、お祭りさわぎでした。
ふくろうげんぞう

え／しまだみつお

## たんぽぽはるか賞

**春風にふかれた、たんぽぽ**　のはらの春

のはらにたんぽぽのたねが
とんできました。
たんぽぽのたねは、はる風にふかれて、
きもちよさそうに　きました。
こんにちは、と、のはらにいいました。
それから春かぜに、
ありがとうといいました。
のはらも、春風も　うれしそう。

古川　徳太郎くん
大分県・大分市・西の台小学校2年

《たんぽぽはるかさんから》とてもあたたかそうな、ゆったりとした春の風景だなあ。まるで「野原」が、春の一日をお日さまに報告しているみたい。「こんにちは」「ありがとう」が効いています。

## だいちさくのすけ賞

**負けるもんか**　のびたざっそう

きょうもまたふまれた
でもたちあがる
いずれはきられる
でもまたのびてみせる
のびてのびてのびまくれ
なんどもなんどでもたちあがれ

亀井　一起くん
大分県・別府市・明星小学校4年

《だいちさくのすけさんから》「のびたちゃん」きみは、けなげだね。一生懸命だね。その思いが「でも…」「でも…」「なんどでも…」という言葉のくり返しで、読むみんなの心にひびいてくるよ。

## おがわはやと賞

**ぼくのたび**　かわかおる

たびの　とちゅう
きにいった　けしきもあった
たちどまって　みていたかった
でも　たちどまれない
なぜって
ぼくは　ながれているから
ひくい　とちへ
いつかゆめみた　おおきなうみへ
ぼくの　ちょっと　さびしい　たちどまれない　たび
おちてきた
はっぱと　ともだちになった
いつのまにか　そこにしずんだ
でも　ひきかえせない
なぜって
ぼくは　ながれているから
ひくい　とちへ
いつかゆめみた　おおきなうみへ
ぼくの　ちょっと　かなしい　ひきかえせない　たび

河本　薫子さん
兵庫県・西宮市・浜脇小学校6年

《おがわはやとくんから》かおるさんの詩は、川の水の流れは「あと戻り」しないのだと「はじめて」のように思わせるチカラがあります。この詩の「心の深いところに届くチカラ」の強さです。

## てんとうむしまる賞

**タマムシのつぶやき**　タマムシきらり

光ってますね
キラキラですね
にじみたいですね
おしゃれですね
ごうかですね
お高そうですね
目立ちますね
いろんな色がありますね
はでですね
あざやかですね
どこにいてもわかりますね
すぐ見つかりますね
お金持ちなんじゃないですか
ほめられているのか
そうでないのか
ちょっとふくざつな毎日です

山口　茉紘さん
鹿児島県・薩摩郡・求名小学校5年

《てんとうむしまるくんから》タマムシちゃんが、みんなにどう思われているか、という感じを詩にしたところが、おもしろいアイデアだねえ。「ちょっとふくざつ」という感想が、しみじみします。

## うさぎふたご賞

**跳ぶ**　うさぎぴょんたろう

今日も跳ぶ
一生懸命跳ぶ
毎日毎日跳ぶ
走りながら跳ぶ
遊びながら跳ぶ
何故か
跳びながら跳ぶ
楽しくて跳ぶ
悲しくて跳ぶ
怒って跳ぶ
苦しくて跳ぶ
ぴょんぴょんと跳ぶ
どってどってと跳ぶ
ひらりひらりと跳ぶ
何故か
てけてけてけと跳ぶ
今日を跳ぶ
人生を跳ぶ
跳び越える
跳び超える

孫　明輝陽くん
山梨県・甲府市・山梨学院大学附属小学校6年

《うさぎふたごさんから》ぴょんたろうくん。「飛ぶ」でなく「跳ぶ」のがすごい。タイトルをいれて「跳」の字が二十個もあるのがすごい。人生まで跳んじゃうのもすごい。このくり返し大迫力！

## わたぐもまさる賞

**にじもつかめるぞ**　かんがるうとびすけ

ぴょんぴょん　よいしょ
ぴょんぴょん　こらしょ
ぴょんぴょん　それ
ぴょんぴょん　できた
きょうもげんきに　にじゅうとび
ぼくは　なわとび　めいじんだ
ぴょんぴょん　いくぞ
ぴょんぴょん　たかく
ぴょんぴょん　もっと
ぴょんぴょん　とべた
あしたはくもを　つかめるぞ
ぼくは　じゃんぷの　めいじんだ

石山　愛彩さん
神奈川県・横浜市・精華小学校1年

《わたぐもまさるくんから》わあー！とびすけくん、たくさんとんだね。カッコいい。「ぴょんぴょん」というリズミカルな音のくりかえしが8回も！虹や雲に向かってとびたい気分が出ています。

## せみすすむ賞

**せみおの日記**　のはらせみお

7月21日　地面から出た
7月22日　人間の子どもにつかまえられた
7月23日　虫カゴの中はせまい
7月24日　にがしてもらった
7月25日　たくさんないてたのしかった
7月26日　たのしかった
7月27日　今日まで、たのしかった…

野原　圭剛くん
沖縄県・うるま市・赤道小学校6年

《せみすすむくんから》せつなく、いとしいせみおくん。きみの日記読んで泣けました。セミの一生・夏の一週間。7日間7行の日記に泣けました。とくに最後の7日に、じんときました。

## へびいちのすけ賞

**ひんやり**　へビながこ

ごきげんよう
にょろにょろ
このごろ暑いですね
でも私はいつもひんやり
暗くて涼しい所が大好きですの
みなさん私を見て
ひんやりしてね

鈴木　万里奈さん
神奈川県・鎌倉市・小坂小学校4年

《へびいちのすけくんから》ヘビのうたって、こわーい、なんて言われて、なかなかかわいく書けないけど、ながこちゃんの詩、かわいい。「私を見てひんやりしてね」というユーモア最高だね！

## かぜみつる賞

**のはらうた**　のはらみつば

のはらうたは　こううたう
の…のんびりと
は…はなしながら
ら…ラララランと
う…うきうきしてくる
た…たのしいのはら
またあした

ブラウン　安美子さん
アメリカ・三育学院サンタクララ校4年

《かぜみつるくんから》詩の頭の字を横に読むと、意味のある言葉があらわれるのを「折句（おりく）」または「アクロスティック」といいます。みつばちゃん、すてきな折句をつくったね！

## けやきだいさく賞

**もりのきこり**　きつつきもりお

おいらはもりの
きこりだぜ
ちからいっぱい
ダダットコトン
むしをにらんで
ダダットコトン
もりもおどろく
ダダットコトン
こっちむいてトン
あっちむいてコン
おいらはもりの
きこりだぜ

マイヤー　七海さん
ドイツ・ボン日本語補習授業校3年

《けやきだいさくさんから》きつつきくん。くちばしで木の幹をたたく音のひびきが「ダダットコトン」と聞こえるなんて……すてきな音のとらえ方だね！　詩ぜんたいがリズミカルで最高です。

## つきとしこ賞

**おやすみ**　つきみゆめ

まえにむいて　わらう
よこにむいて　しらんぷり
だんだん　まぶたがおちてくる
だんだん　まっくらになる
おやすみ

中村　日和さん
高知県・土佐市・蓮池小学校6年

《つきとしこさんから》「月」についての詩はいろいろあるけれど、この発想は新鮮ですね。1行目が満月をあらわし、2行目は半月。3行目は三日月。4行目が新月。…いよっ。オミゴト！

## ぐるーぷ・めだか賞

**神奈川県・鎌倉市・小坂小学校**
詩をつくるとき、きっと「ことば」といっしょに「絵」のイメージが心に浮かんだのでしょう。全員たのしい絵をそえて、詩の世界が、いっそう豊かに広がりました。

**高知県・土佐市・蓮池小学校**
どの詩のなかにも、わいわい・うきうき・やっほい…という、遊び心があふれていたよ。そう！　詩を書きたくなったら、「ことば」と友だちになって遊ぶのが一番！

**神奈川県・横浜市・精華小学校**
低学年の皆さんも、のびのび元気に詩を書いてくれましたね。詩は「朗読」をすると、また別の楽しさを味わえます。そんな「朗読したくなる詩」がいっぱいでした！

「あっぱれ のはらうた」
くどうなおことのはらみんな
B6判・160頁
定価1944円(本体1800円)

「のはらうた わっはっは」
くどうなおことのはらみんな
A6判・160頁
定価1566円(本体1450円)

「のはらうた」I～V
くどうなおことのはらみんな
A6判・160頁
各定価1350円(本体1250円)



童話屋　〒166-0016　東京都杉並区成田西2-5-8　TEL.03-5305-3391　FAX.03-5305-3392　●ホームページ　http://www.dowa-ya.co.jp